

令和7年度静岡県地域防災活動知事褒賞受賞団体・受賞者の活動概況

自主防災組織の部（1組織）

自主防災組織名	活動の概要
<p>にしみやしまく 西宮島区 じしゅぼうさいかい 自主防災会 (富士市)</p>	<p>【世帯数】902世帯 【人員】2,310人</p> <ul style="list-style-type: none">・西宮島区自主防災会は、会長や防災委員を中心とする本部役員と、各区の班長・副班長の合計80人で組織されている。・本部役員は毎月第三日曜日に防災設備・資機材の点検を行っており、防災体制の向上・維持に尽力しているほか、消火器や消火栓の位置、区での備蓄品の一覧などを定期的に更新し、区民に回覧等で共有する体制を整えている。・令和4年度からは個別避難計画の作成にも取り組み、12月の地域防災訓練の中で、富士市の防災アプリを活用し、近隣住民が対象の避難行動要支援者と共に個別避難計画の中で定めた避難ルートで避難する訓練を行った。・避難行動要支援者に対するサポート体制を整えるため、LINEでの連絡網を構築し人材の確保にも取り組んでいる。・積極的な姿勢で防災体制の向上に取り組み、今後の活動にも期待ができる

学校の防災活動の部（2組織）

学校名	活 動 の 概 要
<p>きくがわしりつ 菊川市立 がくようちゅうがっこう 岳洋中学校 （菊川市）</p>	<p>【生徒数】400人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岳洋中は、「ジュニア防災士の資格を取り、私たちの手で地域を守ろう」を合言葉に、生徒が主体的に防災教育及び地域貢献活動に取り組んでいる。 ・3年生の総合的な学習の時間を中心に、年間を通して体系的な防災教育を実施し、その取組は岳洋中の伝統として定着している。 ・総合的な学習の時間では、静岡県西部地域局危機管理課による「ジュニア防災士認定講座」を実施し、防災に関する講話やHUG学習等を通して、災害時における判断力と実践力を育成している。 ・菊川消防署員を講師として招き、心肺蘇生法やAED実習、避難・誘導訓練、初期消火活動等の体験的学習を行い、実践的な防災技能の習得を図っている。 ・生徒自らが地域防災担当者との打合せ会を進行し、地域防災訓練においては小学生や地域住民に学習成果を発表するなど、地域との連携を深めている。当日は避難所運営補助や初期消火活動にも積極的に参加し、地域の一員として防災力向上に寄与している。 ・令和5年度からはさらに力を入れて取り組んできたことで、生徒一人一人が防災意識と地域貢献の精神を高め、地域に信頼されている。 ・令和7年5月に、地域で建物火災が発生した際に、生徒が消火に協力したことから消防署長のお礼訪問を受けるなど、「私たちの手で地域を守ろう」の合言葉への高い意識が伺える。
<p>しずおかけんりつ 静岡県立 こさいこうとうがっこう 湖西高等学校 （湖西市）</p>	<p>【生徒数】355人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖西高等学校は、湖西市表鷺津地区の「避難場所」に指定されており、継続して自治会代表と避難所運営マニュアルの作成・改定作業に協力してきた。 ・令和6年度からは能登半島地震の教訓を踏まえ、より実践的なマニュアルに改定のため、月1回会合を行い、改訂作業を行った。 ・令和7年度も会合を継続するとともに、自治会で設計・作成した段ボールパーティション及びベッドの本校体育館への格納作業を生徒が中心となって行い、組み立て方の講習も実施。 ・生徒に対する防災教育では、毎年学期に1回、避難訓練や防災教育に関する講習を実施。 ・湖西市の協力による起震車体験（1年のみ）と火災を想定したスモークハウス体験（全学年）に加え、令和6年度からは津波避難訓練に替えて自衛隊による防災講座（全学年）を実施し、災害発生時に地域に貢献できる人材の育成を図っている。

団体の部（1団体）

氏名	活動の概要
<p>ふじのくに <small>ぼうさいしかい</small> 防災士会 <small>まつざきちょう</small> 松崎町 <small>いんかい</small> 委員会 （松崎町）</p>	<p>【設立年月日】平成12年2月5日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふじのくに防災士会松崎町委員会は、松崎町の防災研修や訓練、学校での防災教育、サテライト地震防災センターで活動等、多岐にわたり参加・協力している。 ・会員同士で能登半島地震の被災地に赴き、ボランティア活動等にも積極的に取り組んでいる。 ・ボランティア活動での体験は、防災訓練等における講話や、防災士会定例会での情報共有等、防災啓発活動を町と連携して取り組んでいる。 ・防災士会の会員は、災害ボランティアコーディネートの会に所属していたり、被災者支援コーディネーター研修を受講していたりと、防災関係の活動も活発に行っている。